

第4回新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会 摘録

日時 平成21年4月16日(木)9時30分～18時30分
場所 奈良県橿原市(リサイクル館かしはら、クリーンセンターかしはら)
出席 委員11名

1. リサイクル館かしはら視察

- (1) 施設紹介ビデオによる施設案内
- (2) 施設内見学、橿原市職員による説明
- (3) 質疑応答

<J委員> ごみの分け方出し方については、市民による分別への協力無しでは考えられませんが、どのように処理方式を検討されましたか。

<橿原市> 橿原市民の分別に対する協力度を考慮して処理方式を決めました。施設は最初に決めた条件で長期的に稼働することになるので、事前にしっかり検討しておくべきです。



<E委員> 年間の稼働日数はどれくらいですか？

<橿原市> 設備の稼働日数は、258日です。

<E委員> ごみは平成13年度に対して、どれくらい減量していますか。

<橿原市> 平成15年度から一般家庭ごみの有料化を開始しました。総排出量で13年度と比較して約17%、一般家庭ごみ収集量で約28%の減量となっています。

<E委員> リサイクル館かしはらは指定管理者制度はありますか。

<橿原市> ありません。処理施設の運転管理は業者委託しています。

<E委員> 施設の稼働開始当初と比べて改善したことはありますか。

<橿原市> 危険物の除去対策です。爆発・火災の原因になりますので十分な確認をしてから投入ホッパへ投入しています。

<E委員> 啓発はどのように行っていますか。

<橿原市> 広報や各種団体の見学時などの機会を捉えて啓発しています。

<E委員> 分別して出しても、混合収集しており、処理の入り口で一緒になっているではありませんか。

<橿原市> 運搬機材等課題はあると思います。

<G委員> 一般の入場者が8,737人と多いですが、どのようにお考えですか。

<橿原市> もっと多くの方に来館していただきたいと考えています。



2. クリーンセンターかしはら視察

- (1) 施設紹介ビデオによる施設案内
- (2) 施設内見学、橿原市職員による説明
- (3) 質疑応答

<J 委員 >年間処理量 41,500 t に対する運転状況を教えてください。

<橿原市 >通常は2炉運転を行っています。19年度実績では323日稼働しています。

<J 委員 >灯油はどこで使用していますか。

<橿原市 >焼却炉の助燃と溶融炉の未燃ガスの燃焼用に使用しています。

<N 委員 >灰溶融炉の建設費はいくらですか。

<橿原市 >灰溶融炉だけの建設費は分かりませんが、総事業費は造成費を含め 16,262,400 千円です。施設整備当時は、灰溶融炉を設置することが国の補助要件だったので設置しました。焼却残渣を溶融スラグにすることにより、約 1/2 に減容できる減容効果はあります。

<E 委員 >灰溶融炉の予備は必要ですか。

<橿原市 >灰溶融炉の特異性により予備炉は必要になります。灰溶融炉の排ガス処理系統は共通設備ですので同時運転はできません。

<E 委員 >我々も新炉建設を予定していますが、アドバイスがあればお願いします。

<橿原市 >以前、処理能力が足りなくて苦労した経緯があります。奈良県では橿原市と他に1施設が発電や灰溶融を行っています。適正な処理と経済性のバランスは、それぞれの自治体の状況に応じて検討することが肝要と考えられます。



以上